

令和8年度 江戸川区立一之江第二学校 人権教育 年間指導計画 (第3学年)

年間指導計画作成のための留意点 **(東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム(学校教育編)』p14人権教育の年間指導計画(例)』を必ず参照し作成すること)**

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
学級経営	人権教育の目標に関わる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心とした指導		他の人の大切さを認めることを中心とした指導			互いの大切さを認めることを中心とした指導					
各教科・読書科		国語「まいごのかぎ」 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて叙述を基に想像する力を身に付ける	国語「仕事のくふう、みつけたよ」 相手や目的に応じ、段落相互の関係などに注意して文章を書く。	国語「こんな係がクラスがほしい」 互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめ、学習の見通しをもってグループで話し合い、考えを整理する。	国語「ちいちゃんのかげおくり」 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像する力を身に付ける。	国語「三年とうげ」 登場人物の行動や気持ちなどについて、積極的に叙述を基に捉え、学習課題に沿って民話や昔話を紹介する。	国語「お気に入りの場所、教えます」 相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。	国語「モチモチの木」 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。	読書科「本で知ったことをクイズにしよう」 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。	社会「わたしたちのくらしと人々の仕事」 地域の産業や消費生活の様子について理解する	国語「おすすめの一さつを決めよう」 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる。	体育「Tボール・ラインサッカー」 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、最後まで努力して運動をする態度を養う。	保健「毎日の生活と健康」 健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解する。
特別の教科 道徳	友情・信頼・助け合い 相手の身になって考え、信頼し助け合おうとする気持ちを育てる。	規則の尊重・公徳心 人々の気持ちを理解し、社会の決まりや守って、気持ちよく楽しく生活しようとする信念を育てる。	友情・信頼・助け合い だれとでも仲よくし、助け合おうとする心を育てる。	思いやり・親切 困っている人を見かけたら、自分のことよりも先に、喜んで他者を思いやる行為を実践しようとする態度を育てる	思いやり・親切 相手の気持ちや立場を思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。	勤勉・努力・忍耐 自分でやろうと決めたことは、粘り強く最後までやりとげようとする態度を育てる。	生命尊重 自分の生命の尊さに気づき、他の人の生命も同じように大切にしようとする心情を育てる。	勤勉・努力・忍耐 自分でやろうと決めたことは、最後までやり遂げようとする心を育てる。	礼儀 互いに気持ちよく過ごすためには、礼儀が必要であることを知り、礼儀正しくしようとする心を育てる。	個性伸長 自分の特徴を知って、良い所を積極的に伸ばそうとする心情を育てる。	勤労 自分でできることを考え、進んで人の役に立とうとする態度を養う。		
総合的な学習の時間	「わたしたちの江戸川区」 自分たちの町の様子、施設や設備を探検し調べそれらの施設が何のためにあるのかを考え、町には自分たちだけでなくいろいろな立場の人が住んでいることに気づき、人を思いやる心情を育てる。												
特別活動	1年生を迎える会 1年生に歓迎の気持ちを伝える。										6年生を送る会 6年生に感謝の気持ちを表す。		
その他	いち・いの・くれよん(保護者ボランティア)による読み聞かせ												
	保護者会 個人面談 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。	保護者相談日	保護者会	保護者相談日			個人面談 家庭と連絡を取り、児童理解を深める。	道徳授業地区公開講座 道徳教育の取り組みと大切さを伝え連携をとる。	保護者相談日	保護者			

「 」 = 個別的な視点からの取組 (末尾の「 」内は人権課題) ⇔ = 関連的な指導 ◻ = 多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。